

男性の家事・育児参画促進事業【山口県】

総事業費

242 千円

交付金額

121 千円

地域の実情と課題

- 県が実施した「男女共同参画に関する県民意識調査」(R1)によると、「男は仕事、女は家庭」という考え方(固定的な性別役割分担意識)について、反対が54.4%、賛成が35.5%と、反対が大きく上回っており、10年前(反対45.4%、賛成44.8%)と比べて改善傾向にある。
- 一方、九州地域戦略会議が実施した「6歳未満の子を持つ夫婦の家事・育児時間調査」(R4)によると、山口県の女性の家事・育児等時間は、男性と比べると、家事で4倍以上、育児で約3倍の差があり(女性に負担が大きく偏っており)、意識と行動に乖離が見られることがわかった。

事業の特徴

- ①高校生・大学生等を対象とした啓発動画コンテストの実施
- 【応募対象】
 - ・県内に居住または県内の高校等、高専、専門学校、専修学校、短期大学、大学に在籍している生徒及び学生
 - ・県内に居住または県内の事業所等に通う25歳以下の方
- 【入賞作品の活用方法】
 - ・県HP内の特設サイトに掲載
 - ・男性の家事・育児参画関連のイベント(両親学級、育休促進セミナー等)で放映

事業の効果

- 動画コンテスト応募作品数は57作品であり、目標を達成。
- 二次審査の動画サイト(YouTube)の「いいね」機能を利用した一般投票では、全ての動画への投票数合計が500票を超え、再生数については7000回超となった。
- 動画の制作者からは「夫婦で手を携え協力し合って家事と育児がやっていけたらいいな、という思いで作った」との声も上がった。

目的・目標

- 男性の家事育児参画に関する啓発動画コンテストを実施することにより、次代を担う高校生や大学生に、将来、固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく、主体的な家庭観・仕事観を形成することができるよう、家事・育児参画への関心を持ってもらう(自分事として捉えてもらう)。
- 動画コンテスト応募作品数(目標:応募数50作品)

連携団体

山口県男女共同参画推進連携会議

山口県自治会連合会、山口県少年団体活動振興協議会、山口県女性団体連絡協議会、山口県社会福祉協議会、山口県保育協会、山口県病院協会、山口県医師会、山口県歯科医師会、山口県薬剤師会、山口県経営者協会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会、山口県経済同友会、日本労働組合総連合山口県連合会、山口県農業協同組合中央会、山口県森林組合連合会、山口県漁業協同組合、山口県建設業協会、山口県建築士会、山口県私立幼稚園協会、山口県私立中学高等学校協会、山口県専修学校各種学校協会、山口県私立大学協会、山口県PTA連合会、山口県公立高等学校PTA連合会、山口県市長会、山口県町村会

今後の課題

- 新たな啓発手法として、若者目線で男性の家事・育児について考えてもらう啓発動画コンテストを開催したが、家事・育児(特に育児)に関する実体験が少ない若者にはハードルが高いように見受けられた。
- より、家事・育児を当たり前のこととして、身近に感じてもらうための啓発活動を展開していく必要がある。

高校生・大学生等を対象とした啓発動画コンテスト

【対象】

- ・山口県内に居住または県内の高校等、高専、専門学校、専修学校、短期大学、大学に在籍している生徒及び学生
- ・山口県内に居住または山口県内の事業所等に通勤している25歳以下の方

【選考方法】

〔1次審査〕

県、大学教授等による審査→入賞作品選定(10点)

〔2次審査〕

1次審査の結果と、動画サイトの「いいね」機能を利用した一般投票の結果を総合的に勘案

→最優秀賞(1点)、優秀賞(3点)、入選(6点)の決定

【応募対象物】

1分以内の動画

【入賞作品の活用方法】

- ・県HP内の特設サイトに掲載
- ・男性の家事・育児参画関連のイベントで放映

R5 最優秀賞



R5 優秀賞①



R5 優秀賞②



R5 優秀賞③

